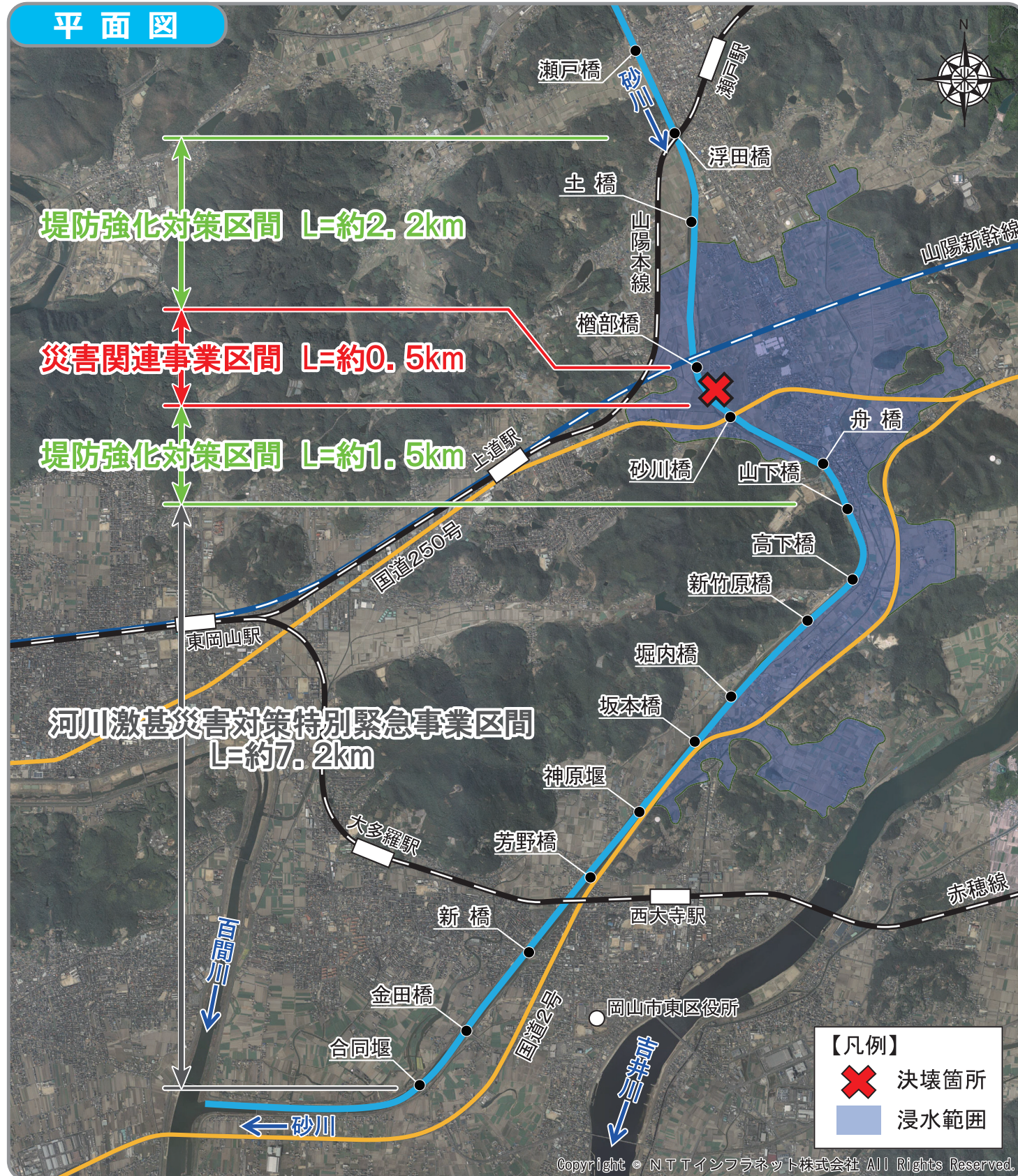


## 事業概要

一級河川砂川改修事業は、百間川合流点より2.3km上流の「合同堰」から赤磐市正崎に至る16.4km区間において、昭和57年度から着手しています。  
このうち、瀬戸町下の「浮田橋」までの約11.4km区間では、平成30年7月豪雨により甚大な被害を受け、再度災害防止を図るために「堤防強化対策」、「災害関連事業」、「河川激甚災害対策特別緊急事業」により整備を進めています。

## 平面図



## 堤防強化対策

堤防強化対策区間では、決壊箇所付近の上下流区間について、川表法面に遮水シートとコンクリートブロック張工等により、水の浸透に強い護岸を整備しています。

### ■整備イメージ図



## 災害関連事業

平成30年7月豪雨により岡山市東区沼地内の左岸（東側）堤防が決壊し、周辺に大きな浸水被害が発生しました。決壊箇所を含む約0.5km区間について、遮水シートとコンクリートブロック張工等により令和2年6月に完了しました。

### 被災直後



### 復旧完了



## 河川激甚災害対策特別緊急事業

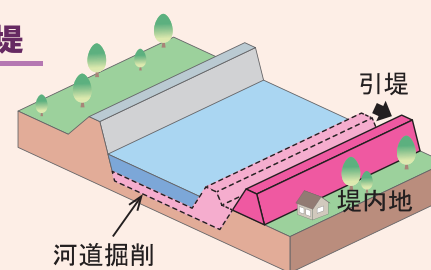
岡山市東区金田地内の合同堰から竹原地内の山下橋までの約7.2km区間について、再度災害防止のため、令和6年度の完成を目標に河道掘削や引堤などを集中的に整備を行っています。

また、本事業区間の一部において、県と岡山市が連携し、堤防整備にあわせ、地元の皆様から要望のあった右岸（西側）堤防道路（市道）の拡幅や、架替が必要な橋梁（芳野橋・坂本橋・堀内橋・新竹原橋）の拡幅を行います。

### ■整備イメージ

#### 河道掘削及び引堤

河道内の土砂の掘削や、既存堤防の堤内地への移動（引堤）により、河道断面を拡大させ、流下能力を向上させます。



#### 築堤

堤防の整備や嵩上げにより、河道断面を拡大させ、流下能力を向上させます。

